

高等部進路だより第2号

大阪府立八尾支援学校
令和5年12月19日

寒冷の候、日頃は本校の教育活動にご協力をいただきお礼申し上げます。

さて、今回は高等部の進路指導の取り組みの中から高等部2年生企業体験実習、高等部3年生企業実習の様子についてお伝えいたします。

『高2企業体験実習』 10/16(月)～11/10(金)うち3日間

高等部2年生9名が工場やスーパーマーケット、薬局、就労継続支援A型にて実習を行いました。スーパーマーケットで実習を行った生徒は、初めての接客で緊張している様子もありましたが、慣れてくると大きな声で挨拶することができ、商品の整理や前出しに積極的に取り組むことができました。就労継続支援A型の福祉サービス事業所で実習を行った生徒は、梱包する作業に



取り組みました。回数を重ねるたびに、集中力を持続する時間が長くなっていく様子が見られました。どの生徒も初めての経験でうまくできない場面も見られましたが、3日目には上達して、作業スピードも上がっていました。3日間という短い期間でしたが、貴重な経験ができました。

『高3企業実習』 10/16(月)～11/2(木)うち5～10日間

高等部3年生4名が、卒業後の就労に向けて実習を行いました。その内企業への実習2名、就労継続支援A型への実習が2名で、仕事内容は、金属加工やネジの製造、軽作業など様々でした。前期に行われた実習とは違う場所に実習に行った生徒もいれば、前回と同じ場所に実習に行き、実際の勤務と同じ時間帯で実習に参加した生徒もいました。

実習前には参加生徒全員が集まって、実習に対する意気込みを共有しました。また、教員からは、挨拶や自分の仕事が終わった時の報告やわからないことを自ら質問するなど、普段の授業で学んだことを意識して臨んでもらいたいと話がありました。

生徒一人一人が、それぞれの実習先で一生懸命に取り組みました。これまでの実習経験もあり、緊張しながらも落ち着いて作業を行うことができました。前期よりも長い時間と日数ということもあり、体力面や継続して仕事に取り組むことに対して新たな課題も見つかりました。今後は、企業の担当者の方からの評価も参考にしながら、自身の課題を見直し、就労に向けて残りの学校生活を頑張りたいと思います。

